



つかまえずに、
見守ってね。

田んぼや池など、水辺の
近くで暮らしています。昔は、「トノサマガエル」
と呼ばれていましたが、その後、別の種類と分かりました。
正しくは「トウキョウダルマガエル」
という名前です。

*トノサマガエルは、関東
地方には分布していません。

トウキョウダルマガエル を見つけたら電話をください。



見分け方

- 大きさ 4～9センチぐらい。
- 体全体に黒い斑点がある。
- 背中に縦筋が入ることが多い(白または緑)。
- 体色は、茶色から緑色まで変化がある。
- 田んぼ、池、沼、川など水辺の近くにいる。



見つけたら…

- ★下記の内容をお電話で教えてください。
(捕かくする必要はありません。)
- 見つけた場所 (〇〇田んぼ、〇〇川、住所
など、なるべく場所が特定できるように)。
- 見つけた日時。
- 発見者の連絡先 (差支えない範囲で)。

☎ 042-595-1110 (直通)

あきる野市環境政策課環境政策係 平日 8:30～17:15

あきる野市では、生物多様性あきる野戦略に基づき、自然環境を調査中です。

あきる野市内で確認されているカエルは、トウキョウダルマガエルを含めて12種類(裏面参照)です。その多くが生息数を減らし、東京都の絶滅危惧種またはそれに準ずる種に指定されています。中でもトウキョウダルマガエルは、田んぼに多く生息し1年を通じて水辺環境が必要なため、全国レベルで絶滅する恐れがあり、あきる野市内においても特に危機的な状況にあります。そこで、今後の保全対策に役立てるため、市内での分布調査をおこなうことになりました。みなさまのご協力をお願いします。

市内で見られる他の種類のカエル

緑色のカエル 3 種



ニホンアマガエル

(2～5センチ)

鼻先から目にかけて黒い線が入る。田んぼ、畑、川原、林などで、比較的よく見られる。普段は緑色だが、茶色や灰色に体色を変化させることができる。



シュレーゲルアオガエル

(3～6センチ)

田んぼや池などの水際に小さな横穴を作って卵を産み、卵塊はメレンゲ状の泡に包まれる。シュレーゲルは、オランダの研究者の名前。



モリアオガエル

(4～8センチ)

森林の林床や樹上で見られる。体色はさまざまで、全身緑色のものや、緑色に茶色や黒の斑点があるものもいる。集団で泡の中に卵を産む。



モリアオガエル卵塊

池や水たまりなどの上に伸びた枝などに産み付ける。5メートル以上の高さに見られることもある。

茶色のカエル 4 種



ヤマアカガエル

(4～8センチ)

森林や周辺の水場で見られる。背中が黄土色から赤褐色までさまざま。ニホンアカガエルに似るが白いお腹に黒い模様がある。



ニホンアカガエル

(4～8センチ)

草地や森林、田んぼなどで見られる。背中が黄土色から赤褐色までさまざま。お腹は白い。



ナガレタゴガエル

(4～6センチ)

溪流周辺の森林にすむ。2～3月の繁殖期に皮膚がたるんでひだ状になり、溪流でオスがメスに抱き着く姿(包接)が見られる。



タゴガエル

(3～6センチ)

溪流周辺の森林や平野の沢で見られる。背中が黄土色から赤褐色までさまざま。岩の隙間や岩の下でグウグエッと低い声で鳴く。

大型のカエル 2 種



アズマヒキガエル

(7～13センチ)

山や畑、庭先の落ち葉の下などにすむ。ほとんど跳ねずにのっそり歩く。ガマガエルとも呼ばれる。



ウシガエル

(11～18センチ)

アメリカ原産の外来種。川や沼の水辺にすむ。跳躍力が高く、潜水も得意。ウオオと低く牛のように鳴く。



ツチガエル

(3～6センチ)

イボガエルとも呼ばれ、灰褐色の体に小さなイボがある。他のカエルと違い、オタマジャクシのまま越冬する。河川や平地の池などで見られる。



カジカガエル

(4～9センチ)

秋川、平井川で3～8月ごろ、キュルルルルルと美しい声で鳴く。姿は灰褐色で見つけにくい。雄は雌の半分ぐらいの大きさしかない。